

平成 30 年 7 月 27 日
予 報 部

台風第 12 号に関する気象情報

7 月 27 日 12 時現在の台風第 12 号に関する概要や留意事項を別添の通りお知らせします。

問合せ先：予報部 予報課 電話 03-3211-8303

台風第12号について

＜台風＞強い台風第12号は、27日12時現在、小笠原諸島付近を北上しています。今後、台風は速度を上げながら北上し、次第に北西のち西よりに進路をかえて、28日午後には強い勢力を維持し、関東甲信地方にかなり接近し、29日明け方までに東海地方または西日本に上陸する見込みです。29日は、西日本付近を減速しながら西へ進むでしょう。

＜大雨＞台風接近前から、東日本付近では台風北側の雲域が27日夜からかかり、さらに湿った東よりの風により東斜面を中心に大雨となるおそれがあります。その後は台風周辺の雨雲により、29日にかけて東日本と西日本を中心に非常に激しい雨が降り、局地的には1時間80ミリ以上の猛烈な雨となる見込みです。29日12時までの24時間の雨量が多いところで関東甲信地方で300から500ミリ、東海地方で300から400ミリ、近畿地方と中国地方で200から300ミリなど広い範囲で大雨となるおそれがあります。

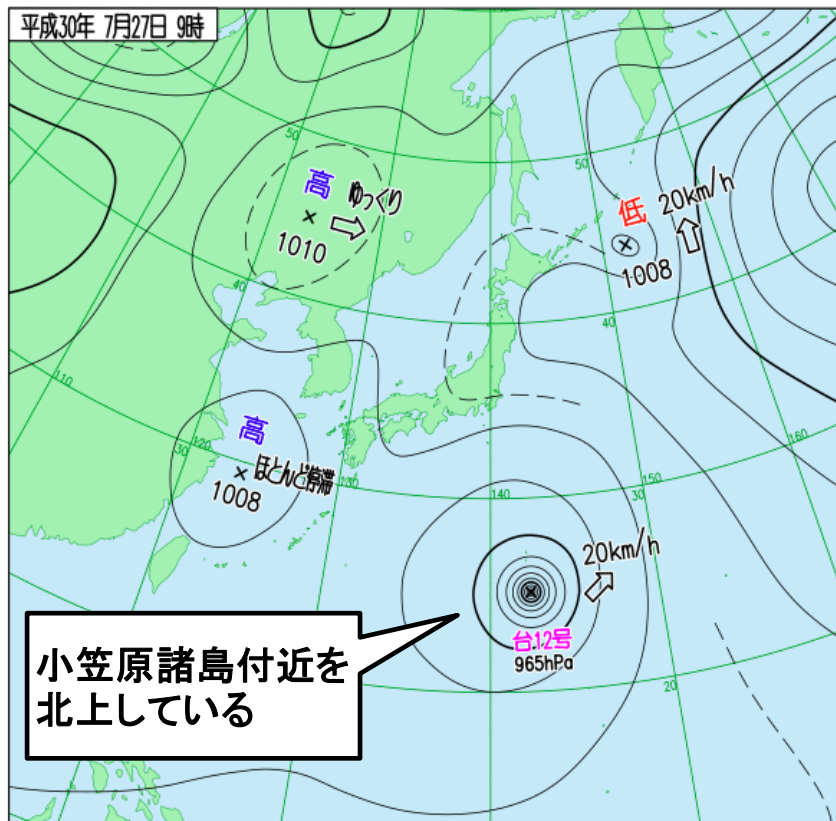
＜暴風・高波＞東日本と近畿地方は台風の接近に伴い、風が急に強まり、28日昼過ぎから29日にかけて、猛烈な風が吹き、海は猛烈なしけとなる見込みです。

＜高潮＞28日前後は大潮の時期にあたり、東日本と西日本では、台風が接近する時間帯や満潮の時間帯を中心に高潮のおそれがあります。

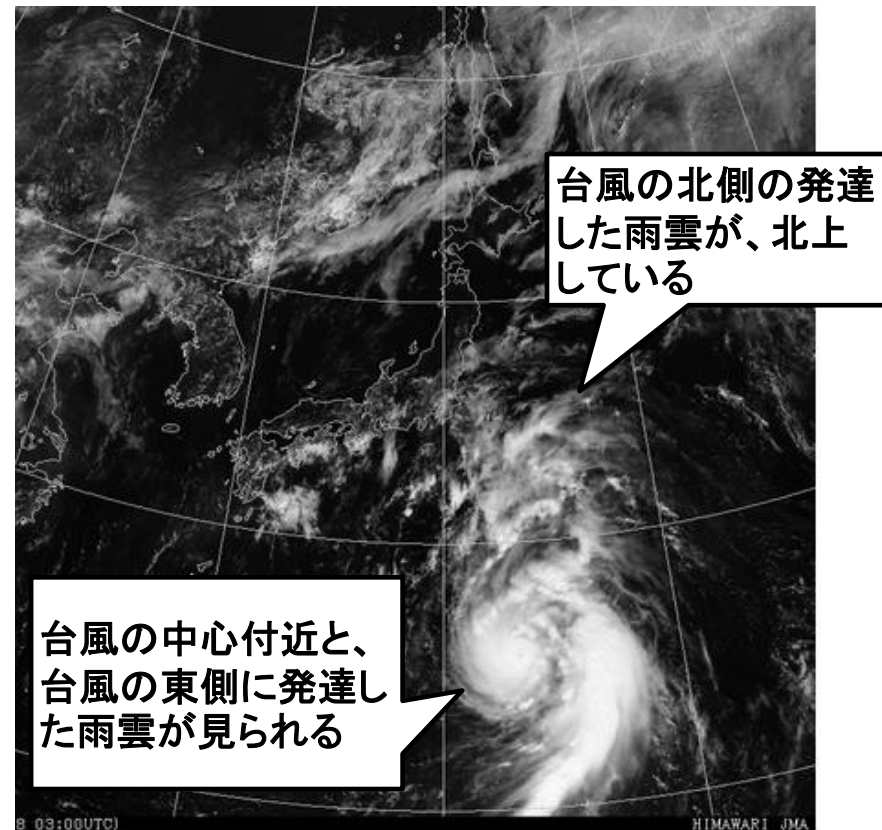
＜警戒事項＞大雨による土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫、暴風、うねりを伴った高波、高潮に厳重に警戒し、落雷、竜巻などの激しい突風に十分注意してください。各地の気象台の発表する警報・注意報など気象情報に留意するとともに、危険度分布を活用し、市町村の避難勧告等に従って、早め早めの避難をお願いします。

天気図と衛星画像

7月27日
13時時点の資料



27日09時
天気図



27日12時00分
衛星画像(可視)

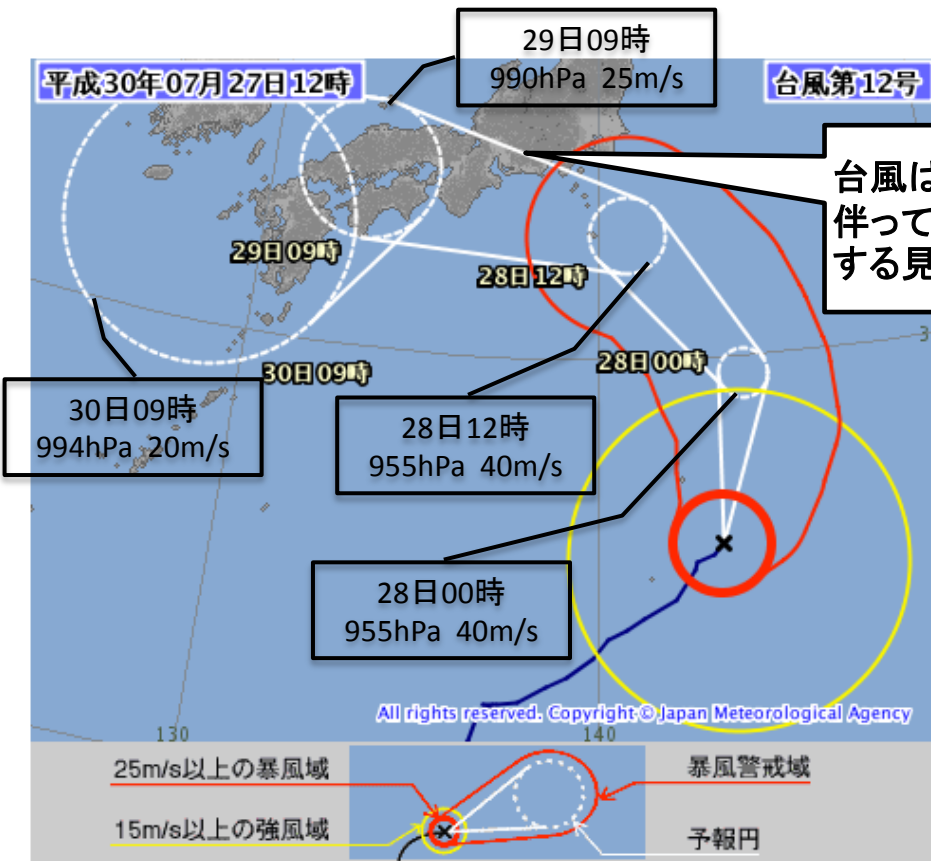
今後の予想を含めた最新の情報は各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(天気図: <https://www.jma.go.jp/jp/g3/index.html>)

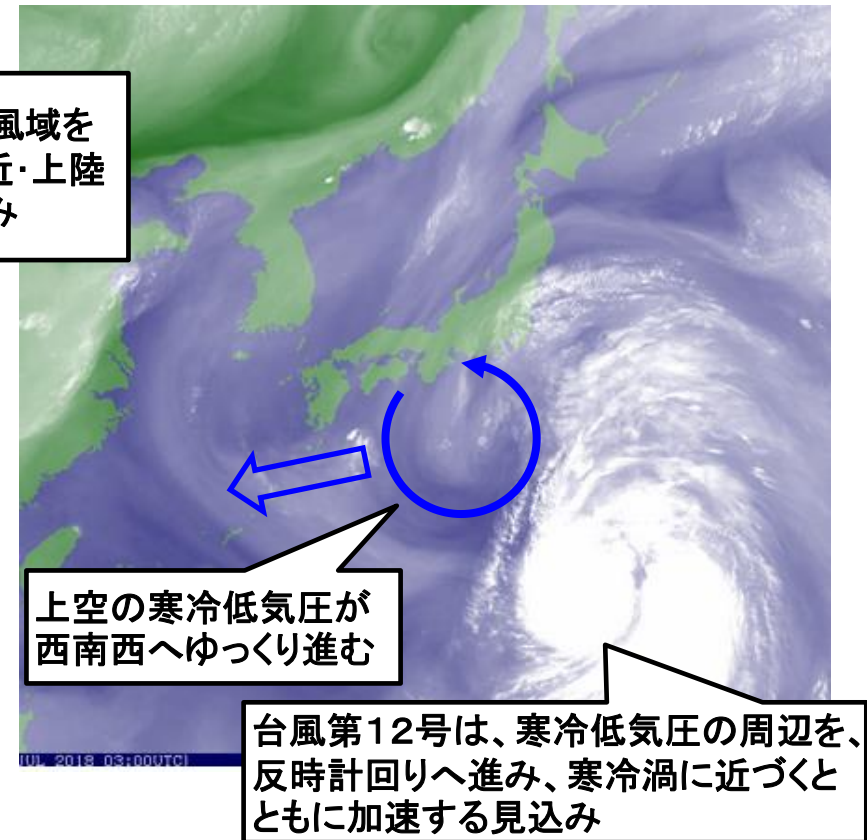
(衛星画像: <https://www.jma.go.jp/jp/gms/>)

台風進路予想と衛星画像

7月27日
13時時点の資料



台風進路予想図(27日12時)



27日12時00分
衛星画像(水蒸気)

今後の予想を含めた最新の情報は、各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(台風情報: <https://www.jma.go.jp/jp/typh/>)

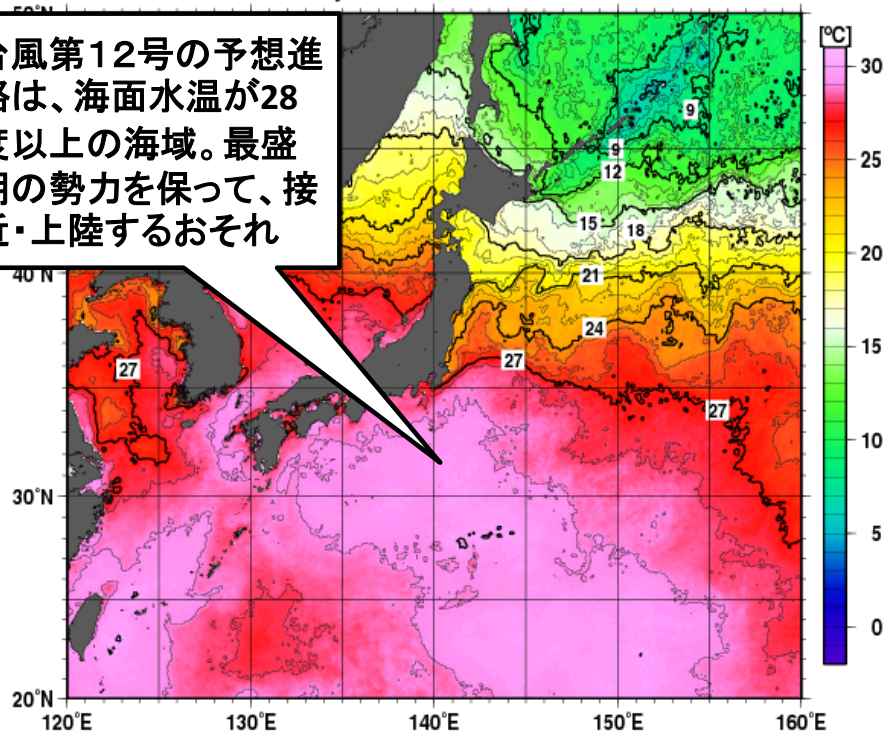
(衛星画像: <https://www.jma.go.jp/jp/gms/>)

海面水温

7月27日
13時時点の資料

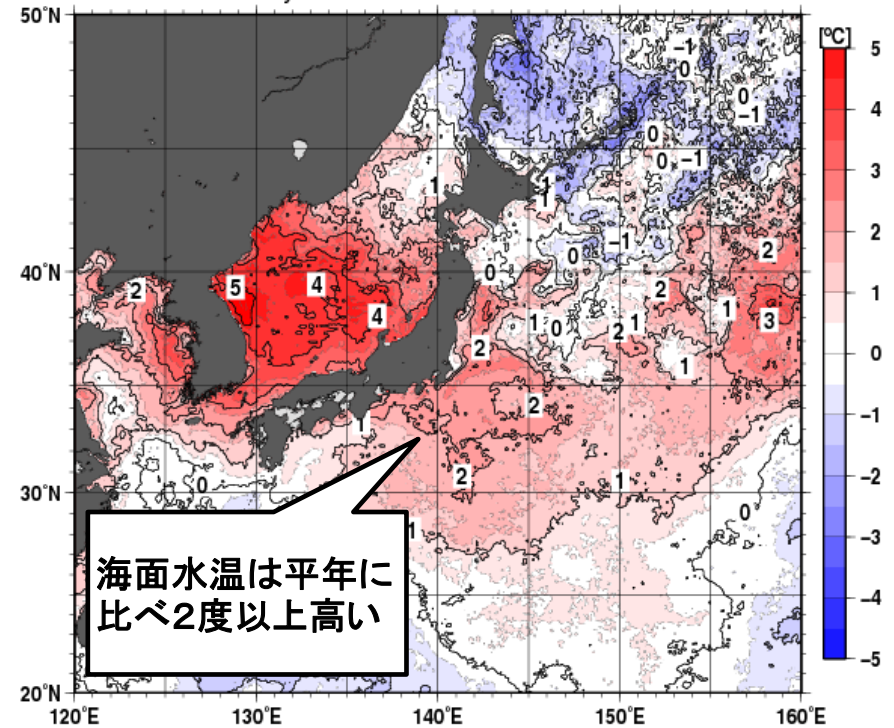
Daily SSTs 26 Jul. 2018.

台風第12号の予想進路は、海面水温が28度以上の海域。最盛期の勢力を保って、接近・上陸するおそれ



26日
日別海面水温

Daily SST anomalies 26 Jul. 2018.



26日
日別海面水温 平年差

海面水温：https://www.data.ima.go.jp/gmd/kaiyou/data/db/kaikyo/daily/sst_HQ.html

今後の雨の予想

7月27日
13時時点の資料

■ 大 雨

- ・ 台風を取り巻く雨雲や東よりの非常に湿った気流により、29日にかけて東日本から西日本にかけて非常に激しい雨が降り、局地的には猛烈な雨が降る見込み。台風の接近する前からの大雨と台風本体の雨雲がかかり、関東甲信、東海、近畿、中国、四国を中心に降水量が多くなる。
- ・ 土砂災害、河川の増水や氾濫、低い土地の浸水に厳重に警戒。

24時間雨量(多いところ) 単位:ミリ

	28日 12時まで	29日 12時まで
関東甲信	200	300～500
東海	150	300～400
近畿		200～300

	28日 12時まで	29日 12時まで
中国		200～300
四国	100	100～200
九州北部		100～150

- ・ その後も、西日本を中心に雨量が多くなるおそれがある。

今後の予想を含めた最新の情報は、各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(全般台風情報: https://www.jma.go.jp/jp/typh/typh_text.html)

(各地の気象情報: <https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>)

今後の風・波・高潮の予想

7月27日
13時時点の資料

■ 暴 風

・28日までの最大風速（最大瞬間風速）

伊豆諸島、東海地方

40メートル（60メートル）

近畿地方

35メートル（50メートル）

小笠原諸島、関東甲信地方

30メートル（45メートル）

■ 高 波

・28日までの波の高さ（最大）

伊豆諸島、関東地方、東海地方

9メートル

小笠原諸島

7メートル

東北地方、近畿地方

6メートル

■ 高 潮

・28日から29日にかけて、台風が接近する時間帯や満潮の時間帯を中心に高潮に注意・警戒。

今後の予想を含めた最新の情報は、各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

（全般台風情報： https://www.jma.go.jp/jp/typh/typh_text.html ）

（各地の気象情報： <https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/> ）

警報級の現象(雨・風・波・高潮)の期間

7月27日
13時時点の資料

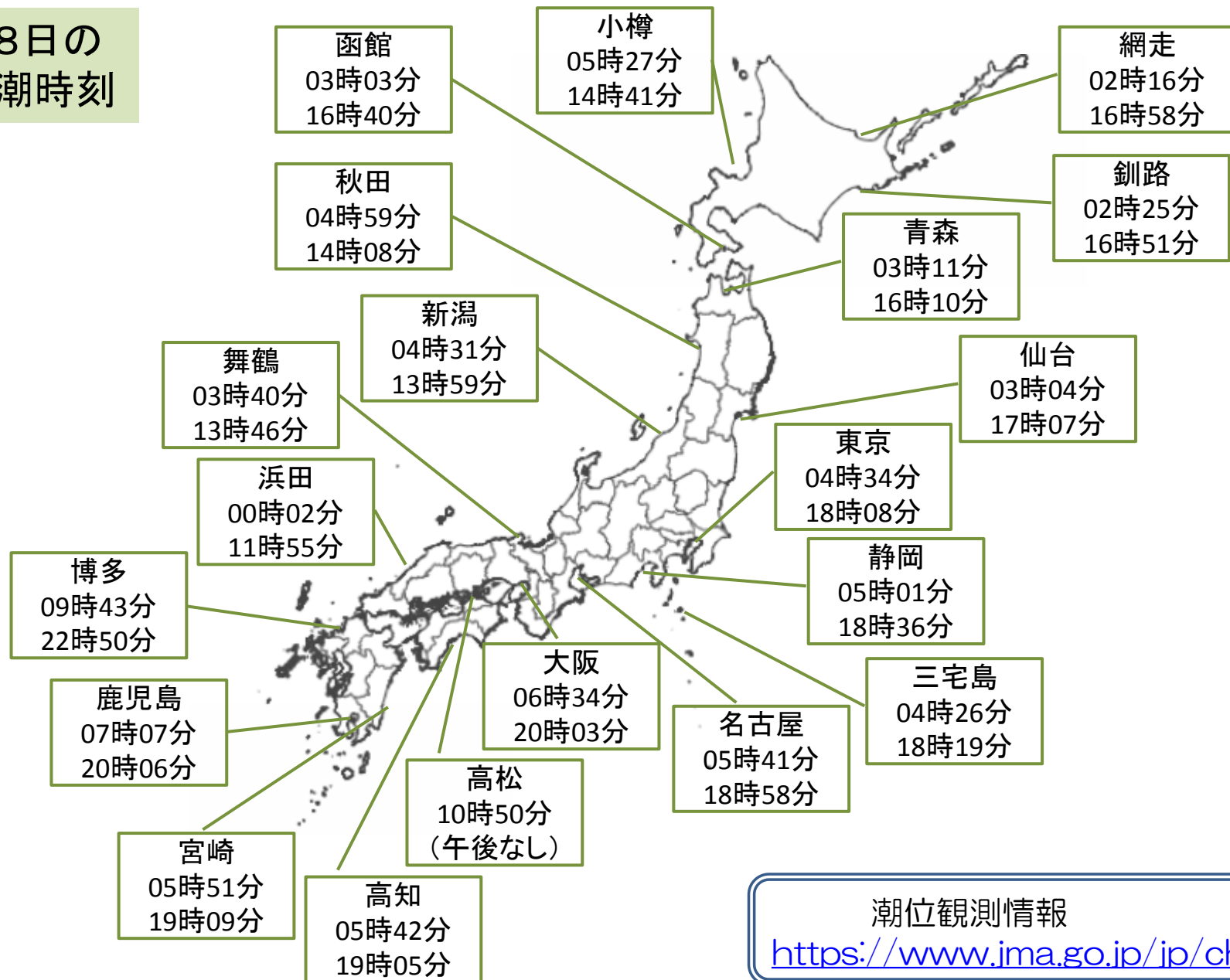
		27日				28日								29日				30日
		12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時	0-24時
		昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く					
東北地方	大雨																	
	暴風																	
	波浪																	
関東甲信地方	大雨																	
	暴風																	
	波浪																	
小笠原諸島	大雨																	
	暴風																	
	波浪																	
東海地方	大雨																	
	暴風																	
	波浪																	
	高潮																	
近畿地方	大雨																	
	暴風																	
	波浪																	
	高潮																	
中国地方	大雨																	
	暴風																	
	波浪																	
	高潮																	
四国地方	大雨																	
	暴風																	
	波浪																	
	高潮																	
九州北部地方	大雨																	
	暴風																	
	波浪																	
	高潮																	

警報級

警報級の現象が予想される期間は、台風の数や進路等によって大きく変わります。
各地の気象台が発表する最新の気象情報を利用してください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報: <https://www.jma.go.jp/jp/warn/>)

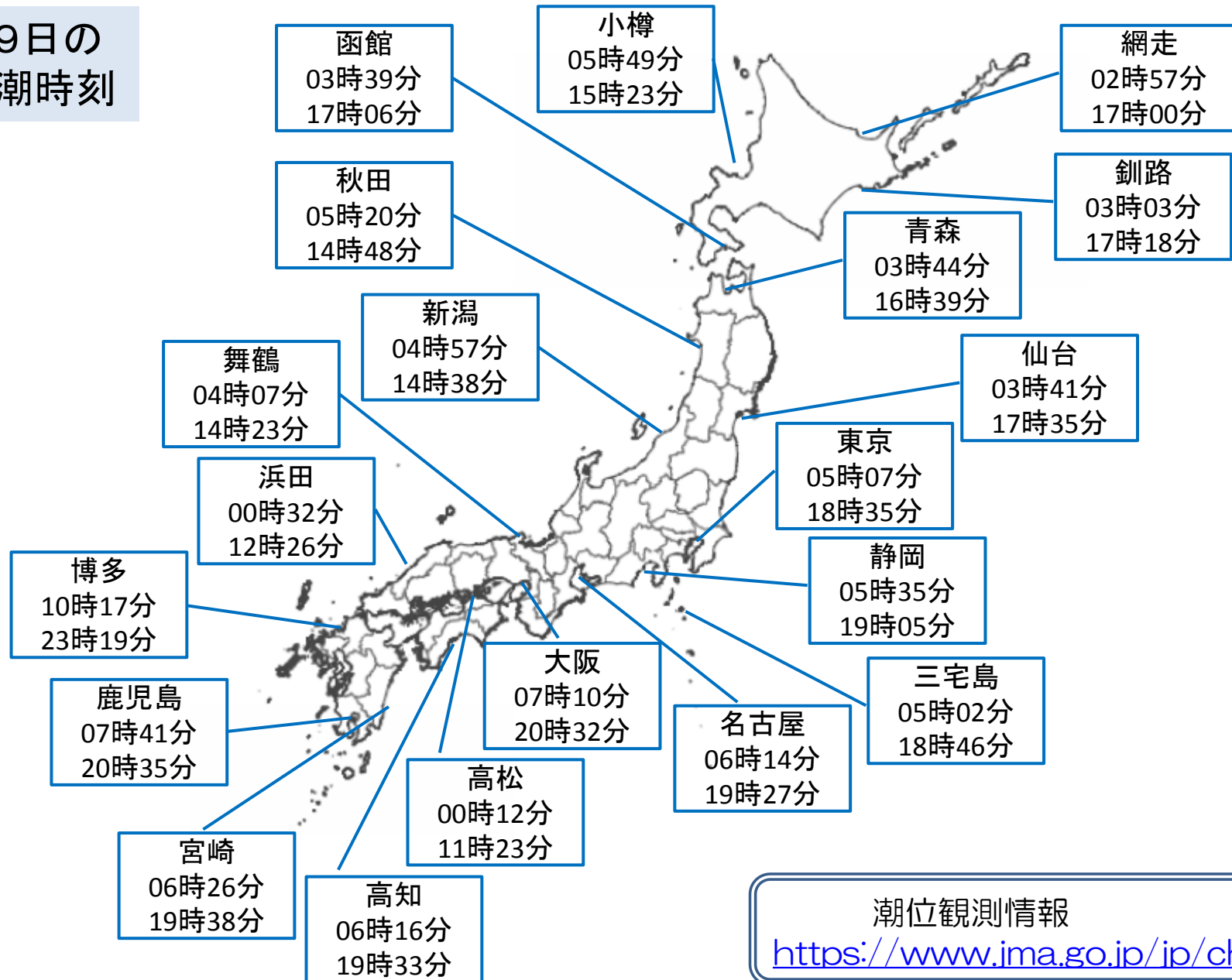
28日の 満潮時刻



潮位観測情報

<https://www.ima.go.jp/jp/choi/>

29日の 満潮時刻



潮位観測情報

<https://www.ima.go.jp/jp/choi/>

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

○気象警報・注意報(大雨、洪水、暴風(雪)、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける)
<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>

○危険度分布(どこで土砂災害、浸水害、洪水害の危険度が高まると予測されているかを地図上に表示)
土砂災害 <https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>
浸水害 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>
洪水警報 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>



気象庁HPのバナーをご利用ください。

○各地の気象情報(気象概況や大雨の見通し)
<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>

○台風情報(台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し)
<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>
https://www.jma.go.jp/jp/typh/typh_text.html

○指定河川洪水予報(国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測)
<https://www.jma.go.jp/jp/flood/>

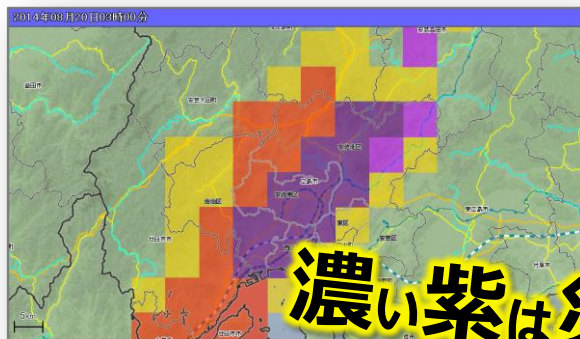
○土砂災害警戒情報(命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに厳重な警戒を呼びかける)
<https://www.jma.go.jp/jp/dosha/>

○最新の気象データ(雨雲の動き、今後の雨、雨や風の観測データ)
<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>
<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/rank_daily/prerct00.html#pre24h_rct
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/rank_daily/data00.html#mxwsp

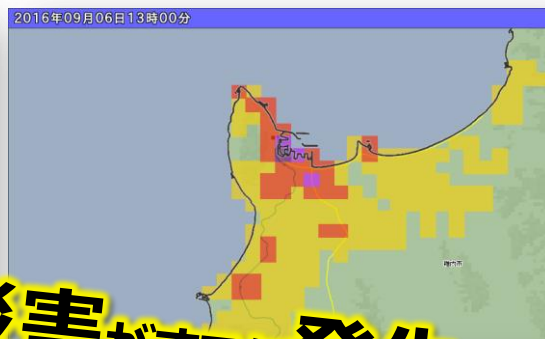
(本報道発表に関するお問い合わせ)
気象庁予報部予報課:03-3211-8303

「危険度分布」を活用して早めの避難を

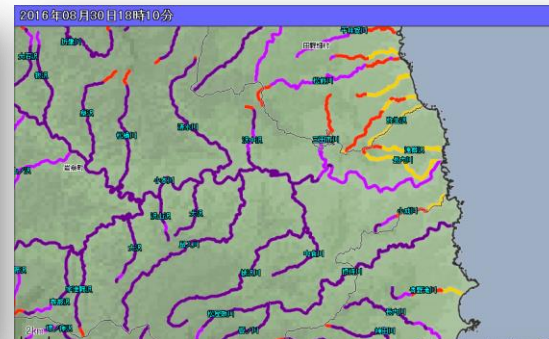
土砂災害警戒判定 メッシュ情報



大雨警報(浸水害)の 危険度分布



洪水警報の 危険度分布



濃い紫は災害がすでに発生しているもおかしくない

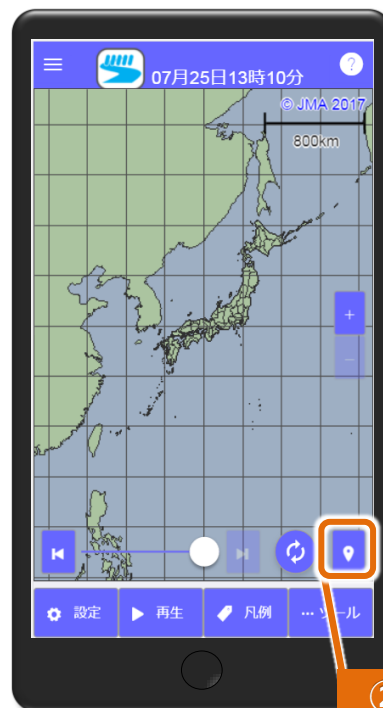


「危険度分布」の「**濃い紫**」が出現してからでは、重大な災害が**すでに発生**している可能性が高い極めて危険な状況となることから、できる限り早めの避難を心がけ、遅くとも**薄い紫**が出現した段階で、（洪水害については河川水位などの現況も確認した上で）速やかに避難開始の判断をすることが重要です。

自分のいる場所の「危険度分布」を確認しましょう。



① 気象庁ホームページ
のバナーをタップ



② 現在位置取得
ボタンをタップ



③ 自分のいる場所
の危険度が表示

スマートフォン等の位置情報機能を活用し、自分のいる場所の「危険度分布」を確認しましょう。

PC等で「お気に入り」に登録して活用できる、[都道府県別の危険度分布等を簡単に表示できるURL](https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/index.html#area=338)も用意しています。

<例> (広島県) <https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/index.html#area=338>